

**2023年度（前期） 写真学科 1 年**

授業コード	授業科目名			単位数	担当講師名
	<b>写真史</b>			<b>4</b>	<b>権 泰完</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	時間×回数	実務経験
	前期 4月～9月	<b>講義</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>	<b>写真作家として活動</b>

授業概要

写真史、歴史に残る写真家、フォトグラファーが残した作品そのものを知り、またその時代背景を学び制作意欲の幅を広げる

授業テーマ

写真の歴史と写真作品を研究し、作品制作に活かす

授業項目

授業内容

1	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究①	木村伊兵衛賞受賞作品A群1975年～1979年A
2	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究②	木村伊兵衛賞受賞作品C群1980年～1949年A
3	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究③	木村伊兵衛賞受賞作品D群1950年～1989年A
4	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究④	木村伊兵衛賞受賞作品E群1990年～2004年A
5	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑤	木村伊兵衛賞受賞作品F群2005年～2008年A
6	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑥	木村伊兵衛賞受賞作品G群2009年～2014年A
7	／	木村伊兵衛賞受賞作家研究⑦	木村伊兵衛賞受賞作品H群2015～2019年A
8	／	写真誕生①	1800年代：コロジオン湿板写真について
9	／	写真誕生②	1840年代：ガラス乾板写真について
10	／	写真誕生③	タルボットとアーチャーについての研究
11	／	写真伝来・日本	日本への写真伝来、上野彦馬について
12	／	肖像写真	肖像写真ナダールについて
13	／	風景写真	風景写真、フランス革命
14	／	まとめ	提出物チェック、アドバイス
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度（後期） 写真学科 1 年**

授業コード	授業科目名			単位数	担当講師名
	<b>写真史</b>			<b>4</b>	<b>権 泰完</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	時間×回数	実務経験
	後期 10月～3月	<b>講義</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>	<b>写真作家として活動</b>

授業概要

写真史、歴史に残る写真家、フォトグラファーが残した作品そのものを知り、またその時代背景を学び制作意欲の幅を広げる

授業テーマ

写真の歴史と写真作品を研究し、作品制作に活かす

授業項目

授業内容

1	/	復習	前クールまでのおさらい
2	/	プレゼン	提出物チェック、アドバイス
3	/	写真表現①	写真家による探検と冒険、マキシムデュカン
4	/	写真表現②	ポートレート表現ジュリアマーガレットキャメロン
5	/	写真と戦争①	初期の写真と戦争の記録
6	/	写真と戦争②	戦争写真について
7	/	写真技術の進化	マイブリッジの動体写真について
8	/	復習	提出物チェック、アドバイス
9	/	作品性について	アルフレッドスティーグリッツとモノクロプリント
10	/	都市と地域性①	アッジェと都市の写真について
11	/	都市と地域性②	スティーグリッツと都市の写真について
12	/	写真の種類、様式①	ソラリゼーション、シュールレアリズム、マンレイについて
13	/	写真の種類、様式②	肖像を通じた記録、アウグストザンダーについて
14	/	復習	提出物チェック、アドバイス
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度（前期） 写真学科 1 年**

授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	<b>スタジオワーク I</b>		<b>4</b>	<b>加藤 淳史</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数
	前期 4月～9月	<b>演習</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>
				実務経験
				広告・フォトグラファーとして活動

授業概要

スタジオ撮影の基礎を身につける

授業テーマ

スタジオでの写真撮影を日常的に行えるようになる

授業項目

授業内容

1	/	スタジオ基礎知識1	スタジオ機材の名称、使い方を知る
2	/	スタジオ基礎知識2	ストロボ1灯を使ってポートレート撮影(バストアップ)
3	/	スタジオ基礎知識3	ストロボ1灯を使ってポートレート(全身)
4	/	スタジオ基礎知識4	ストロボを複数使ってポートレート(全身白バック)
5	/	スタジオ基礎知識5	商品撮影(ブツ撮り)を行いながら光の質を考える
6	/	スタジオ基礎知識6	商品撮影(ブツ撮り)各自好きなものをストロボ1灯を使用して撮る
7	/	スタジオ基礎知識7	商品撮影(ブツ撮り)各自好きなものをストロボ複数使用して撮影してみる
8	/	復習	スタジオ撮影基礎の復習
9	/	スタジオ知識応用1	ライティングを考える(商品撮影)
10	/	スタジオ知識応用2	ライティングを考える(人物)
11	/	スタジオ知識応用3	ポートフォリオ撮影(商品)
12	/	スタジオ知識応用4	ポートフォリオの考察
13	/	スタジオ知識応用5	ポートフォリオ撮影(人物)
14	/	スタジオ作品集完成	ポートフォリオの考察
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度（後期） 写真学科 1 年**

授業コード	授業科目名			単位数	担当講師名
	<b>スタジオワーク I</b>			<b>4</b>	<b>加藤 淳史</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	時間×回数	実務経験
	前期 10月～3月	<b>演習</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>	広告・フォトグラファーとして活動

授業概要

スタジオ撮影応用・依頼撮影実習

授業テーマ

大型カメラでの撮影及び業界エキスパートに向けての写真撮影

取材を想定したライティング及び光の性質を知りライティング実習の徹底

授業項目

授業内容

1	/	大判カメラ実習1	4x5カメラを使用して商品撮影1
2	/	大判カメラ実習2	4x5カメラを使用して商品撮影2
3	/	大判カメラ実習3	4x5カメラを使用して人物撮影1
4	/	大判カメラ実習4	4x5カメラを使用して人物撮影2
5	/	振り返り・考察	4x5カメラでの撮影の考察
6	/	スタジオ撮影1	スタジオでの写真撮影1
7	/	スタジオ撮影2	スタジオでの写真撮影2
8	/	取材1	取材を想定した人物ライティング
9	/	取材2	取材を想定した料理、商品撮影
10	/	ライティング1	光の考察1(ハードライト、ソフトライト)
11	/	ライティング2	光の考察2(光の性質を知る)
12	/	ライティング3	自身でライティングできるようになる人物
13	/	ライティング4	自身でライティングできるようになる商品
14	/	スタジオ作品集完成	スタジオ撮影まとめ
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	番組企画制作			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必須	64	CMプランナー

□ 授業概要

番組制作・構成に関わる基礎項目

□ 授業テーマ

テレビ業界の概要や番組が出来るまでの流れを理解する

テレビ番組制作に必要な書類を理解し作成できるようになる

□ 授業項目

□ 授業内容

1	/	放送の種類	地上波と衛星放送/キー局や放送時間/ターゲットについて
2	/	放送業界の職種	番組制作に関わる人や職種/ADの仕事からみた番組制作のおおまかな流れ
3	/	番組構成①	テレビ番組の種類や構成について
4	/	番組構成②	テレビに必要な音楽やテロップ/リサーチの重要性
5	/	番組制作①	番組ロケの流れ
6	/	番組制作②	スタジオ収録の流れ
7	/	作品研究	テレビディレクター出身の映画監督/テレビ以外の映像作品に興味を持つ重要性
8	/	番組書類作成①	番組概要書/取材撮影許可申請書を作成
9	/	番組書類作成②	番組の企画書や提案書を作成
10	/	番組書類作成③	番組台本を作成
11	/	番組書類作成④	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	/	番組書類作成⑤	ドラマに必要な書類の理解
13	/	番組書類作成⑥	ドラマに必要な書類作成(脚本/香盤表/総合スケジュール)
14	/	番組書類作成⑦	書類作成のテスト
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	番組企画制作			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必須	64	CMプランナー

□ 授業概要

番組制作を通じたコミュニケーション強化

□ 授業テーマ

- 番組制作を企画から行いVTRを完成させる
- 脚本から作成しドラマ作品を完成させる

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ディレクション①	テーマを発表し企画を構築
2	／	ディレクション②	企画会議を行い企画書を完成
3	／	制作①	台本とスケジュールの作成
4	／	制作②	取材交渉や出演者のブッキング
5	／	制作演習①	制作作業
6	／	制作演習②	制作作業
7	／	試写①	試写と合評
8	／	ドラマ・ディレクション①	テーマに沿った脚本の作成
9	／	ドラマ・ディレクション②	合評を行い作成する作品を選定しグループ分けを行う
10	／	ドラマ制作①	スケジュール作成/取材交渉や出演者のブッキングなど
11	／	ドラマ制作演習①	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	ドラマ制作演習②	制作作業
13	／	ドラマ制作演習③	制作作業
14	／	試写②	試写と合評
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（前期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ストーリー構成			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	CMプランナー

□ 授業概要

ストーリーの種類を知り、基本的なストーリーを構成できるようになる。

□ 授業テーマ

ストーリー構成と脚本のフォーマット

□ 授業項目

□ 授業内容

1	/	ストーリー概論	ストーリーとは何か。有名なストーリーを分解して構成を知る。
2	/	ストーリー構成	一般的な文章構成「起承転結」と「序破急」を理解し、「起承転結」と「序破急」を使って文章を構成できるようになる。
3	/	発想法	オリジナルストーリーに着手するための発想方法を学ぶ。
4	/	プロット講義	プロットに至るまでのステップを知る。ログライン、大箱を理解し、アイデアをまとめるプロセスを学ぶ。
5	/	脚本構成	脚本のフォーマットを学ぶ。
6	/	脚本構成	実際にアイデアからストーリーを構成して、脚本化する。
7	/	脚本検証	脚本を完成させ、検証する。
8	/	個人制作	前半で学んだこと活かし個人的なストーリー構成を行う
9	/	個人制作	前半で学んだこと活かし個人的なストーリー構成を行う
10	/	個人制作	前半で学んだこと活かし個人的なストーリー構成を行う
11	/	中間提出	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	/	ブラッシュアップ制作	手直し制作
13	/	ブラッシュアップ制作	手直し制作
14	/	プレゼン発表	作成したストーリーを発表
15	/	振り返り考察	まずは完成までできたか？そして今度は共感を得る作品へのシフトチェンジ。
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（後期） 放送・映画学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ストーリー構成			4	長谷 公平
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	CMプランナー

□ 授業概要

課題を通して様々なストーリー構成を知り、最適な構成を使いこなせるようになる。

□ 授業テーマ

脚本作成

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	第1作	第1作:自身の体験を元にショートストーリーを脚本化するためアイデアをログラインにする。
2	／	第1作	ログラインからプロット、大箱の流れ。全体の構成を固める。
3	／	第1作	初稿:実際に脚本化する。
4	／	第1作	第2稿:初稿を元にブラッシュアップしていく。
5	／	第1作	第3稿:第2稿を元にブラッシュアップしていく。
6	／	第1作	第4稿:第3稿を元にブラッシュアップしていく。
7	／	第1作	決定稿:第4稿を元に脚本を完成させる。
8	／	第2作	第2作:自身の体験を元にショートストーリーを脚本化するためアイデアをログラインにする。
9	／	第2作	ログラインからプロット、大箱の流れ。全体の構成を固める。
10	／	第2作	初稿:実際に脚本化する。
11	／	第2作	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	第2作	第3稿:第2稿を元にブラッシュアップしていく。
13	／	第2作	第4稿:第3稿を元にブラッシュアップしていく。
14	／	第2作	決定稿:第4稿を元に脚本を完成させる。
15	／	作品共有	各作品を比較し批評する
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（前期）	CG映像学科	1 年
------------	--------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	3DCG基礎A			4	波多江 譲二
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	CG会社代表経験有

授業概要

3DCGモデリングの基礎を習得

授業テーマ

Autodesk Mayaの基礎を学び、映像制作で使用する上での基礎を身につける。

3DCGモデリングを通して、ライティングや質感調整など、3DCG作品の質を高める。

授業項目

授業内容

1	/	Maya 基礎	Mayaのセットアップ、基本操作の理解
2	/	3DCG モデリングA(建築物)①	3DCGモデリング基礎 建築物制作
3	/	3DCG モデリングA(建築物)②	3DCGモデリング基礎 建築物制作
4	/	3DCG モデリングA(建築物)③	3DCGモデリング基礎 建築物制作
5	/	3DCG モデリングA(インテリア)①	3DCGモデリング基礎 インテリア制作
6	/	3DCG モデリングA(インテリア)②	3DCGモデリング基礎 インテリア制作
7	/	3DCG モデリングA(インテリア)③	3DCGモデリング基礎 インテリア制作
8	/	3DCG モデリングA(プロップ)①	3DCGモデリング基礎 プロップ制作
9	/	3DCG モデリングA(プロップ)②	3DCGモデリング基礎 プロップ制作
10	/	3DCG モデリングA(プロップ)③	3DCGモデリング基礎 プロップ制作
11	/	3DCG モデリングA(背景)①	3DCGモデリング基礎 背景制作
12	/	3DCG モデリングA(背景)②	3DCGモデリング基礎 背景制作
13	/	3DCG モデリングA(背景)③	3DCGモデリング基礎 背景制作
14	/	3DCG モデリングA(背景)④	3DCGモデリング基礎 背景制作
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（後期）	CG映像学科	1 年
------------	--------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	3DCG基礎A			4	波多江 譲二
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	演習	必須	64	CG会社代表経験有

授業概要

3DCGモデリングによる作品制作。

授業テーマ

映像での使用を目的とした3DCGモデルの制作を通して、目的に応じたモデリングのスキルの習得。

授業項目

授業内容

1	/	3DCGモデリングAⅠ①	作品制作(3DCGモデリング)
2	/	3DCGモデリングAⅠ②	作品制作(3DCGモデリング)
3	/	3DCGモデリングAⅠ③	作品制作(3DCGモデリング)
4	/	3DCGモデリングAⅠ④	作品制作(3DCGモデリング)
5	/	3DCGモデリングAⅠ⑤	作品制作(3DCGモデリング)
6	/	3DCGモデリングAⅠ⑥	作品制作(3DCGモデリング)
7	/	作品批評①	作品提出・確認
8	/	3DCGモデリングAⅡ①	作品制作(3DCGモデリング)
9	/	3DCGモデリングAⅡ②	作品制作(3DCGモデリング)
10	/	3DCGモデリングAⅡ③	作品制作(3DCGモデリング)
11	/	3DCGモデリングAⅡ④	作品制作(3DCGモデリング)
12	/	3DCGモデリングAⅡ⑤	作品制作(3DCGモデリング)
13	/	3DCGモデリングAⅡ⑥	作品制作(3DCGモデリング)
14	/	作品批評③	パネル出力・プレビュー
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（前期）	CG映像学科	1 年
------------	--------	-----

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	デザイナーズオペレーション			4	増田 貴大
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	CGデザイン会社勤務

□ 授業概要

映像制作で必要となるカメラの理解と、デザインの考え方、構図の理解。

映像制作に必要なIllustrator・AfterEffectsの基礎の習得。

□ 授業テーマ

以降の作品のクオリティの要になる、Illustrator・AfterEffectsを理解する。

作品制作を通してカメラの仕組み、デザインの考え方と、グラフィックの基本的なツールの使い方を習得する。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	カメラ基礎①	一眼レフカメラを使用し、カメラの特性を考える①
2	／	カメラ基礎②	一眼レフカメラを使用し、カメラの特性を考える②
3	／	映像におけるPhotoshop基礎①	映像業界で使用される、Photoshopの操作説明①
4	／	映像におけるPhotoshop基礎②	映像業界で使用される、Photoshopの操作説明②
5	／	Illustrator基礎①	Adobe IllustratorのUI、書き出しフォーマットの確認
6	／	Illustrator基礎②	DTPにおける、Adobe Illustratorの使い方①
7	／	Illustrator基礎③	DTPにおける、Adobe Illustratorの使い方②
8	／	Illustrator基礎④	映像における、Adobe Illustratorの使い方①
9	／	Illustrator基礎⑤	映像における、Adobe Illustratorの使い方②
10	／	After Effects基礎①	Adobe After EffectsのUI、書き出しフォーマットの確認
11	／	After Effects基礎②	Adobe After Effectsの使い方①
12	／	After Effects基礎③	Adobe After Effectsの使い方②
13	／	After Effects基礎④	Adobe After Effectsの使い方③
14	／	After Effects基礎⑤	Adobe After Effectsの使い方④
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度(前期) 声優学科 1年**

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	<b>声優台本対策A</b>			<b>4</b>	<b>川口 大樹</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	<b>演習</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>	<b>劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出</b>

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	/	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	/	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	/	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	/	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	/	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	/	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	/	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	/	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	/	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	/	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	/	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	/	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	/	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	/	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度(後期) 声優学科 1年**

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	<b>声優台本対策A</b>			<b>4</b>	<b>川口 大樹</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期10月~3月	<b>演習</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>	<b>劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出</b>

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	/	声優審査対策①	課題台本配布、発表、質疑応答
2	/	声優審査対策②	課題台本配布、発表、質疑応答
3	/	声優審査対策③	課題台本配布、発表、質疑応答
4	/	声優審査対策④	課題台本配布、発表、質疑応答
5	/	声優審査対策⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
6	/	声優審査対策⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
7	/	声優審査対策⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
8	/	声優審査応用①	課題台本配布、発表、質疑応答
9	/	声優審査応用②	課題台本配布、発表、質疑応答
10	/	声優審査応用③	課題台本配布、発表、質疑応答
11	/	声優審査応用④	課題台本配布、発表、質疑応答
12	/	声優審査応用⑤	課題台本配布、発表、質疑応答
13	/	声優審査応用⑥	課題台本配布、発表、質疑応答
14	/	声優審査応用⑦	課題台本配布、発表、質疑応答、まとめ
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度(前期) 声優学科 1年**

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	<b>声優台本対策B</b>			<b>4</b>	<b>川口 大樹</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月~9月	<b>演習</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	/	声優審査対策①	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる①
2	/	声優審査対策②	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる②
3	/	声優審査対策③	中間発表。及び、他チームの講評意見交換を行う。
4	/	声優審査対策④	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す。
5	/	声優審査対策⑤	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す②
6	/	声優審査対策⑥	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す③
7	/	声優審査対策⑦	発表。及び他チームへの講評、意見交換を行う。
8	/	声優審査応用①	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う。
9	/	声優審査応用②	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う②
10	/	声優審査応用③	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う③
11	/	声優審査応用④	中間発表、ディスカッション。
12	/	声優審査応用⑤	創作①
13	/	声優審査応用⑥	創作②
14	/	声優審査応用⑦	発表。振り返り、1年間のまとめ。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度(後期) 声優学科 1年**

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	<b>声優台本対策B</b>			<b>4</b>	<b>川口 大樹</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	<b>演習</b>	<b>必須</b>	<b>64</b>	劇団万能グローブガラバゴスダイナモス 主宰/演出

授業概要

オーディション時における課題台本の考察・読解力向上

授業テーマ

台詞技術の向上

授業項目

授業内容

1	/	声優審査対策①	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる①
2	/	声優審査対策②	テキストを基に、チームごとに演技プランを作成し、表現を立ち上げてみる②
3	/	声優審査対策③	中間発表。及び、他チームの講評意見交換を行う。
4	/	声優審査対策④	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す。
5	/	声優審査対策⑤	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す②
6	/	声優審査対策⑥	中間発表、ディスカッションを経て、チーム創作の練り直し、向上を目指す③
7	/	声優審査対策⑦	発表。及び他チームへの講評、意見交換を行う。
8	/	声優審査応用①	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う。
9	/	声優審査応用②	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う②
10	/	声優審査応用③	テキストを用い、チームごとに演技を立ち上げ、及び他チームへの講評を行う③
11	/	声優審査応用④	中間発表、ディスカッション。
12	/	声優審査応用⑤	創作①
13	/	声優審査応用⑥	創作②
14	/	声優審査応用⑦	発表。振り返り、1年間のまとめ。
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度(前期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	株) パインズ 水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期4月～9月	演習	必須	64	タレント事務所所属、タレント業

□ 授業概要

収録スタジオにてアフレコ基礎トレーニング

□ 授業テーマ

正しい発音とタイミング、マイクワークで、短尺のアニメアフレコを収録

□ 授業項目

□ 授業内容

1	/	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ/基本的な読みのレクチャー
2	/	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表/マイクワーク決め、尺調など
3	/	アフレコ基礎③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と発音指導)
4	/	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、発音のおさらいと表現指導)
5	/	アフレコ基⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
6	/	アフレコ基礎⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
7	/	アフレコ基礎⑦	最終リハーサル本番収録(アニメ短尺)プレビュー(各自レポート記入)レポート提出
8	/	アフレコ応用①	★前クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有り) 台本製本、読み合わせ、画合わせ/基本的な読みのレクチャー②
9	/	アフレコ応用②	まわしアフレコにてキャスト選考→キャスト発表/マイクワーク、尺調、暗記など
10	/	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(タイミングの確定と暗記の定着)
11	/	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(タイミング、暗記のおさらいと、表現の指導)
12	/	アフレコ応用⑤	全通し①→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③(改善箇所)
13	/	アフレコ応用⑥	全通し②→マイクワーク含む改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し④(最終調整)
14	/	アフレコ応用⑥	最終リハーサル 本番収録(洋画中尺) プレビュー(各自レポート記入)レポート提出
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度(後期) 声優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アフレコ基礎			4	株) パインズ 水島 理沙
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期10月～3月	演習	必須	64	タレント事務所所属、タレント業

□ 授業概要

アフレコ収録・応用

□ 授業テーマ

★心の反映(表情筋) ★動きの反映(呼吸の芝居など) ★距離感の反映(声を飛ばす目的の設定) を意識して長尺アニメアフレコを収録

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	アフレコ基礎①	台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー①
2	／	アフレコ基礎②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調など
3	／	アフレコ基礎③ 1	決まったキャストによる小返し①(心の反映注力指導)
4	／	アフレコ基礎④	決まったキャストによる小返し②(動きの反映・距離感の反映注力指導)
5	／	アフレコ基礎⑤	ギャ指導→全通し→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
6	／	アフレコ基礎⑥	全通し→最終調整 最終リハーサルまで。
7	／	アフレコ基礎⑦	本番収録(アニメ長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
8	／	アフレコ応用①	★前クール提出のレポート返却(希望者には添削レスポンス有り) 台本製本、読み合わせ、画合わせ／読みの応用レクチャー②
9	／	アフレコ応用②	まわしアフレコによるキャスト選考→キャスト発表／マイクワーク、尺調、暗記など
10	／	アフレコ応用③	決まったキャストによる小返し①(心の反映に注力指導)
11	／	アフレコ応用④	決まったキャストによる小返し②(動き、距離感の反映に注力指導)
12	／	アフレコ応用⑤	台本なし全通し①→改善箇所ピックアップ→個々へ伝達→小返し③
13	／	アフレコ応用⑥	台本なし全通し②→最終調整 最終リハーサルまで。
14	／	アフレコ応用⑦	本番収録(洋画長尺) プレビュー(各自レポート記入) レポート提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

**2023年度(前期) 俳優学科 1年**

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	<b>演劇ゼミナール基礎</b>			<b>8</b>	<b>後藤 香</b>
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	<b>演習</b>	<b>必須</b>	<b>128</b>	<b>劇団goto 主宰/代表</b>

授業概要

基礎練習を通して、俳優としての心身を確立します。俳優としての心身の確立とは、与えられた登場人物、シーンを演じるための肉体と精神を持ち合わせているということです。また、夏休み前の演劇公演に向けて、課題の台本分析、キャスティング、読み合わせ、半立ち稽古、立ち稽古、通し稽古のように、演劇公演本番までの一連の流れを体験します。

授業テーマ

プレスクールで得た、俳優マインドを実践として体感していきます。俳優の特権的な体験である「劇的体験」を体現します。

授業項目

授業内容

1	/	基礎練習	仮キャスティングにて読合せ
2	/	基礎練習	本キャスティングにて読合せ、半立ち稽古1～2/11
3	/	基礎練習	半立ち稽古4～5/11、立稽古2/11
4	/	基礎練習	半立ち稽古7～8/11、立稽古4/11
5	/	基礎練習	半立ち稽古10～11/11、立稽古6～7/11
6	/	基礎練習	立稽古9～10/11
7	/	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	/	基礎練習	小返し
9	/	基礎練習	小返し
10	/	基礎練習	小返し、通し稽古
11	/	基礎練習	小返し、通し稽古
12	/	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
13	/	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
14	/	基礎練習	仮キャストにて素読み、エチュード
15	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	/	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度(後期) 俳優学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	演劇ゼミナール基礎			8	後藤 香
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～2月	演習	必須	128	劇団goto 主宰/代表

授業概要

基礎練習は俳優業界を目指すのであるなら継続的に続きます。与えられた登場人物・シーンを演じるための心身を確立します。俳優学科では、1年間に2回の演劇公演への出演をしますが、舞台演技に求められることを、体感的に学びます。

授業テーマ

ストレートプレイの充実を求めます。演劇公演は総合芸術と言われます。照明、音響、大道具、小道具など演出は多岐に渡りますが、俳優学科は、自分自身が表現メディア故、上記の演出がなくとも芝居を成立させないといけないという認識の元、演じます。

授業項目

授業内容

1	／	基礎練習	本キャストにて読合せ、半立ち稽古1～2/11
2	／	基礎練習	半立ち稽古4～5/11、立稽古2/11
3	／	基礎練習	半立ち稽古6～7/11、立稽古3/11
4	／	基礎練習	半立ち稽古9～10/11、立稽古5/11
5	／	基礎練習	立稽古7～8/11
6	／	基礎練習	立稽古10～11/11
7	／	基礎練習	抜き稽古、荒通し
8	／	基礎練習	小返し
9	／	基礎練習	小返し
10	／	基礎練習	小返し、通し稽古
11	／	基礎練習	小返し
12	／	基礎練習	小返し、通し稽古
13	／	基礎練習	小返し
14	／	基礎練習	小返し、本番前最終通し稽古
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（前期）

音響学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーションⅠ			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	ライブハウス・スタジオ レコーディング経験有

## □ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

.....

.....

## □ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

.....

.....

## □ 授業項目

## □ 授業内容

1	✓	PTオペレーションⅠ-1	オリエンテーション
2	✓	PTオペレーションⅠ-2	Native/DSPプラグイン
3	✓	PTオペレーションⅠ-3	ロクロス等フェードの応用
4	✓	PTオペレーションⅠ-4	ビートディテクティブ
5	✓	PTオペレーションⅠ-5	AudioSuite
6	✓	PTオペレーションⅠ-6	ダブリングなどの手法を用いた録音方法
7	✓	PTオペレーションⅠ-7	ボーカルエディット①(修正ソフトを用いない)
8	✓	PTオペレーションⅠ-8	ボーカルエディット②(修正ソフトを使用)
9	✓	PTオペレーションⅠ-9	オリエンテーション
10	✓	PTオペレーションⅠ-10	クリップ情報について解説
11	✓	PTオペレーションⅠ-11	ステムトラックの作成方法
12	✓	PTオペレーションⅠ-12	変拍子のセッションの作成
13	✓	PTオペレーションⅠ-13	イン/エクスポート・バウンス
14	✓	PTオペレーションⅠ-14	グループ化の実用例
15	✓	PTオペレーションⅠ-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	✓	PTオペレーションⅠ-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（後期） 音響学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーションⅠ			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	ライブハウス・スタジオ レコーディング経験有

□ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PTオペレーションⅠ-17	オリエンテーション
2	／	PTオペレーションⅠ-18	タブを用いた編集
3	／	PTオペレーションⅠ-19	メーターの種類
4	／	PTオペレーションⅠ-20	エラスティックオーディオ
5	／	PTオペレーションⅠ-21	サイドチェイン
6	／	PTオペレーションⅠ-22	トラブルシューティング
7	／	PTオペレーションⅠ-23	テイク管理・セレクト
8	／	PTオペレーションⅠ-24	テイク管理・セレクト
9	／	PTオペレーションⅠ-25	オリエンテーション
10	／	PTオペレーションⅠ-26	オペレーション実習、制作作業
11	／	PTオペレーションⅠ-27	オペレーション実習、制作作業
12	／	PTオペレーションⅠ-28	オペレーション実習、制作作業
13	／	PTオペレーションⅠ-29	オペレーション実習、制作作業
14	／	PTオペレーションⅠ-30	オペレーション実習、制作作業
15	／	PTオペレーションⅠ-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーションⅠ-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（前期）

音響学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティングI			4	壇浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必須	64	マーケティング講師

□ 授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

□ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	マーケティングI-1	さまざまなマーケティングの定義
2	／	マーケティングI-2	マーケティングは誰がするのか
3	／	マーケティングI-3	マーケティングの考え方は変わっていく
4	／	マーケティングI-4	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	／	マーケティングI-5	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	／	マーケティングI-6	マーケティングに求められる役割
7	／	マーケティングI-7	振り返り
8	／	マーケティングI-8	外部環境分析PEST
9	／	マーケティングI-9	3C分析
10	／	マーケティングI-10	SWOT分析
11	／	マーケティングI-11	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	／	マーケティングI-12	マーケティングの目標の設定
13	／	マーケティングI-13	STPの概要
14	／	マーケティングI-14	セグメンテーション（市場細分化）
15	／	マーケティングI-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	マーケティングI-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度 (後期) 音響学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティングI			4	壇浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必須	64	マーケティング講師

授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

授業項目

授業内容

1	／	マーケティングI-17	さまざまなマーケティングの定義
2	／	マーケティングI-18	マーケティングは誰がするのか
3	／	マーケティングI-19	マーケティングの考え方は変わっていく
4	／	マーケティングI-20	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	／	マーケティングI-21	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	／	マーケティングI-22	マーケティングに求められる役割
7	／	マーケティングI-23	振り返り
8	／	マーケティングI-24	外部環境分析PEST
9	／	マーケティングI-25	3C分析
10	／	マーケティングI-26	SWOT分析
11	／	マーケティングI-27	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	／	マーケティングI-28	マーケティングの目標の設定
13	／	マーケティングI-29	STPの概要
14	／	マーケティングI-30	セグメンテーション（市場細分化）
15	／	マーケティングI-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	マーケティングI-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（前期）		ミュージッククリエイト学科1年			
授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名	
	アンサブルテクニックⅠ		8	永田 健志	
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	演奏家として多方面で活躍

□ 授業概要

学内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて、楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す実践の基礎的な取り組み。

□ 授業テーマ

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	導入	オリエンテーション
2	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
3	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
4	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性
5	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）
6	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲
7	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏
8	／	アンサンブル	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	／	アンサンブル	オリエンテーション
10	／	アンサンブル	16ビートのフィーリングの習得
11	／	アンサンブル	シャッフルのリズム
12	／	アンサンブル	ファンクグルーヴ
13	／	アンサンブル	セッション（合奏）
14	／	アンサンブル	セッション（合奏）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度（後期）

ミュージッククリエイト学科1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサブルテクニクⅠ			8	永田 健志
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期 10月～3月	演習	選択	128	演奏家として多方面で活躍

□ 授業概要

学内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて、楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す実践の基礎的な取り組み。

□ 授業テーマ

楽曲への独自アプローチからスタイルの確立を目指す

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	導入	オリエンテーション
2	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
3	／	アンサンブル	シンプルな8ビートの楽曲
4	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性
5	／	アンサンブル	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）
6	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲
7	／	アンサンブル	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏
8	／	アンサンブル	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	／	アンサンブル	オリエンテーション
10	／	アンサンブル	16ビートのフィーリングの習得
11	／	アンサンブル	シャッフルのリズム
12	／	アンサンブル	ファンクグルーヴ
13	／	アンサンブル	セッション（合奏）
14	／	アンサンブル	セッション（合奏）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

2023年度 (後期)

マスコミ出版・芸能学科 1年

授業コード	授業科目名			週間事業時数	担当講師名
	著作権			2	讀井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	理論	必須	32	広告制作業経験有

□ 授業概要

メディアコンテンツを適正に扱う上で、確実に理解をしておくべき知的財産権「著作権」についての知識を修得

実際に社会に公開されているメディアコンテンツを題材に、逆引きでの分析をディスカッション・ディベートで

□ 授業テーマ

□ 授業項目

□ 授業内容

1	/	著作権1	特許・意匠・実用新案・商標・著作権について
2	/	著作権2	小説、脚本、論文、講演そのほかの美術の著作物
3	/	著作権3	音楽の著作物・絵画、版画、彫刻そのほかの美術の著作物
4	/	著作権4	建築の著作物・写真の著作物・映画の著作物
5	/	著作権5	プログラムの著作物・二次的著作物・編集著作物、データベースの著作物
6	/	著作権6	公表権・氏名表示権・同一性保持権
7	/	著作権7	複製権
8	/	著作権8	上演権・演奏権
9	/	著作権9	上映権
10	/	著作権10	公衆送信権・公の伝達権
11	/	著作権11	口述権・展示権
12	/	著作権12	頒布権・譲渡権
13	/	著作権13	貸与権
14	/	著作権14	翻訳権・翻案権
15	/	著作権15	次的著作物の利用権
16	/	著作権16	レポート作成

2023年度（前期） マスコミ出版・芸能学科 1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライティングワーク			4	讀井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	前期 4～9月	実習	選択	64	広告業界勤務経験

授業概要

自分の目指す分野についてセキュリティや情報の取り扱いについて理解する

授業テーマ

様々なビジネスモデルから、マーケティングの基礎を学ぶ。

授業項目

授業内容

1	/	ライティングワーク1	プランニング1
2	/	ライティングワーク2	プランニング2
3	/	ライティングワーク3	プランニング3
4	/	ライティングワーク4	制作の準備
5	/	ライティングワーク5	制作の準備
6	/	ライティングワーク6	コピーライティング
7	/	ライティングワーク7	コピーライティング
8	/	ライティングワーク8	コピーライティング
9	/	ライティングワーク9	コピーライティング
10	/	ライティングワーク10	ソーシャルネットワーク活用
11	/	ライティングワーク11	ソーシャルネットワーク活用
12	/	ライティングワーク12	取材
13	/	ライティングワーク13	取材
14	/	ライティングワーク14	取材
15	/	ライティングワーク15	成果発表
16	/	ライティングワーク16	テスト実施

**2023年度（後期） マスコミ出版・芸能学科 1年**

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライティングワーク			4	讀井 啓二郎
コースNo.	授業期間	授業分類	<small>必須・必須選択・選択</small>	年間授業時数	実務経験
	後期 10～3月	実習	選択	64	広告業界勤務経験

授業概要

自分の目指す分野についてセキュリティや情報の取り扱いについて理解する

授業テーマ

様々なビジネスモデルから、マーケティングの基礎を学ぶ。

授業項目

授業内容

1	／	ライティングワーク17	プランニング1
2	／	ライティングワーク18	プランニング2
3	／	ライティングワーク19	プランニング3
4	／	ライティングワーク20	制作の準備
5	／	ライティングワーク21	制作の準備
6	／	ライティングワーク22	コピーライティング
7	／	ライティングワーク23	コピーライティング
8	／	ライティングワーク24	コピーライティング
9	／	ライティングワーク25	コピーライティング
10	／	ライティングワーク26	ソーシャルネットワーク活用
11	／	ライティングワーク27	ソーシャルネットワーク活用
12	／	ライティングワーク28	取材
13	／	ライティングワーク29	取材
14	／	ライティングワーク30	取材
15	／	ライティングワーク31	成果発表
16	／	ライティングワーク32	テスト実施